

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスAYUMOおおとり		
○保護者評価実施期間	R7年8月12日		～ R7年8月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18名	(回答者数) 10名
○従業者評価実施期間	R7年10月1日		～ R7年10月6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年10月6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	自信や意欲を持って参加出来るような環境作り	プログラムの設定・振り返り・見直し 定期的な研修によるスタッフの意識向上	スタッフ全体の意見を伝え合える環境作り
2	保護者の方との関係、結びつき	親子通所で支援現場を実際に見ていただき、 活動終了後にフィードバックや普段の様子共有を行う また、送迎が難しい方は送迎を行い、連絡ノートや面談等で 情報共有を行う	保護者会を定期的に行い、 保護者の方同士の結びつきも強くしていく 2ヶ月に一回の自助会(アユムーン)をお知らせし、 定期的に話が出来る環境提供を行う
3	確立したプログラムの提供	運動療育による感覚統合に重点を置いた脳への働きかけにより 生活能力の土台となる感覚を整え、 その上に生活技術(学習・生活・対人スキル)を 積み上げるプログラムを提供する	定期的にスタッフの意見交換を行い、 今後も専門的な支援プログラムの提供を行う

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所外の人と交流する機会が少ない	平日の午前中や、土曜日にプログラムがあり、 時間も1時間45分と時間が短い為、中々時間を取る事が難しい	他事業所と合同のイベント参加の機会や 隣接している高齢者のリハビリデイ(nagomi)との 交流を増やしていく
2	柔軟なプログラム設定	プログラムの内容が確立しており、 半年間のサイクルを設定している為、 内容の大幅な変更が難しい	子ども達、保護者の方の意見をお伺いし、 ニーズに合わせてプログラムにも組み込めるよう努めていく
3	個別対応	小集団での活動を主としている為、 集団の中での個別対応が難しい場合がある	当日の担当スタッフを決め、活動ごとに その子にあった目標設定を提示していけるようにしていく 難しい場合はスモールステップとして 出来る事を見つけていく

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日					回収数	
児童発達支援・放課後等デイサービスAYUMOおとり		R7年10月20日					18	10
チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	0	0	0	運動をするための十分なスペース（64㎡）がございます。遊ぶ場所や遊ぶ内容に合わせて室内を区切る等工夫し、危険のないようにのびのびと遊べる環境を整えてまいります。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	10	0	0	0	ご意見を頂きありがとうございます。また、きょうだいのお子さまへ支援・配慮に不十分な点があり、ご不快な思いをおかけし、大変申し訳ございません。受給者証をお持ちのお子さまには職員が個別でつく体制を整えるとともに、安全面を考慮し、保護者の方にもご協力いただけるようお声がけをさせていただきます。お子さま一人ひとりが安心して過ごせるよう、職員一同で体制の見直しと連携の強化に努めてまいります。 専門性：保育士資格、幼稚園教諭免許、小学校教諭免許、理学療法士、児童指導員等、有資格者を配置しております。 また、1日を通して常時4～5名のスタッフを配置しております。 あい・さかいサポーターを受講しているスタッフも在籍しておりますので今後とも全スタッフで定期的に研修の受講・共有を行い、専門性を更に高められるよう努めて参ります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	0	0	0	施設内に段差はなくバリアフリー化に努めております。本人に分かりやすいようにホワイトボードにスケジュールを掲示したり、絵カードを使用したり、個人にあった支援を心がけております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7	3	0	0	外からの光を取り込むことで居心地のいい空間作りを行っております。毎日の清掃、空気清浄機の設置、気温に合わせた空調管理を行い、心地よく過ごせる空間作りを目指しております。自由時間等、お子さまの希望する活動が複数に分かれる際はテント（大・小）等で空間を区切って活動に集中しやすい環境を作っております。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8	2	0	0	集団プログラムはとても良いと思いますが、個別プログラムもあれば良いと感じました。 サーキット練習はとても良いと思いますが、うちの子どもの場合は気が散ったり、好きな運動だけしてしまったりするので、一つずつさせるなどの個別対応があれば良いと思いました。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9	1	0	0	今後も支援の内容を保護者様と共有出来るように発信してまいります。ご意見等ございましたらお伝えいただけますと幸いです。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10	0	0	0	少なくとも半年に1回は面談を行い、お子さまや保護者様のニーズを踏まえ、個別支援計画の案をもとに職員との支援会議後、個別支援計画の本案を作成しております。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8	2	0	0	アセスメントに沿って、それぞれの支援内容を設定し計画書に位置付けております。内容について疑問等ございましたら、追加でご説明させていただきますのでお気軽にお問い合わせください。	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8	2	0	0	本計画を立てる前に職員間で面談内容の共有を行い、支援会議を行っております。全職員が計画案を確認し、内容についての意見を出し合う機会を設けております。個人のファイルに計画を積み、全職員がすぐに確認出来るようにしております。今後も計画に沿った支援を心掛けてまいります。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8	2	0	0	3ヶ月（2週×6）で同じ種目に繰り返し取り組んでおります。繰り返し取り組むことで種目の上達を促し、達成感を感じられるようにしております。全職員で年間の振り返りを行い、プログラムの改善を目指しております。祝日のイベントプログラム内ではいつもと違ったメニューも用意しておりますので是非お越しください。	
11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1	3	6	0	現状、そのような機会が中々取れていない状況となっております。冬に西区の合同イベントにて他事業所との交流を予定しております。		

保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8	1	1	0	運営規定、利用者負担にしましてはご契約時に必ずご説明をさせていただいております。また、ご契約前にも一度お越しいただき実際の支援プログラムを体験していただいた上でご説明をさせていただきます。ご不明な点がございましたらいつでもご質問ください。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9	1	0	0	案の段階で説明をし、意向との相違点等がないか確認しております。その後、本案の作成を行い再度説明・確認をさせていただきますので保護者様には今後ともご協力賜りますようお願い申し上げます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	2	0	0	あまり詳しくないですが、行われていると思います。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	8	1	1	0	親子通所でご来所いただいている為、滞りに活動の様子や家庭、園の状況についてお話をさせていただく時間を設けております。送迎ご利用の方は送迎時、お会い出来た際に活動中の様子等のお伝えをさせて頂いております。個別支援計画に沿った支援の中で発達の状況、課題については半年に1回の面談時により深くお話をさせて頂いております。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	2	0	0	少なくとも半年に1回は面談をさせていただいております。保護者の方の気持ちに寄り添った傾聴を心掛け、不安の解消をしていただくことを大切にしております。分かる範囲の助言以外は一度持ち帰り、職員で話し合ったうえでのお返答や、専門機関の紹介をさせていただくこともございます。親子通所をご利用の方はプログラム終了後、関わり方に関してのお話をする機会を設けております。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8	1	1	0	面談以外の時間も保護者の方とお話させていただく機会を大切にしていきたいと考えております。今後もお子さま、保護者様に寄り添った支援が出来るよう努めてまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	3	1	0	兄弟はいないので、イベントは分らないですが保護者同士の交流会の機会は習い事などで参加できない日が多いのですが、予定がなければ参加したいです。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	2	0	0	相談や申し入れがあった場合、職員間で相談内容の共有を図り、今後どうしていくのかを話し合い、即時対応しております。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8	2	0	0	直接、保護者様、お子さまとの会話を大切にすることはもちろん、連絡ノートに記載していただくことに対してのお返事もさせていただいております。これからもお子さまのご様子保護者様に出来るだけ詳しく伝えていけるよう努めてまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9	1	0	0	お子さまたちの活動スケジュール等を毎月発行の「AYUMOだより」にてお知らせしております。Instagramにも日々の活動の様子を公開しております。自己評価表もHPIに記載しておりますのでご確認ください。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10	0	0	0	書類関係は鍵のかかるキャビネットで、厳重に管理しております。契約時に説明をしている『個人情報使用同意書』に書かれている範囲内で使用させていただき、SNS等でもご利用者様の顔が写らないようスタンプ等を押して配慮しております。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	1	0	0	避難訓練などしていただいとていいと思います。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	2	0	0	半年に1回子どもたちと一緒に避難訓練を行っております。事前にご連絡させていただき、保護者様にも一緒に参加していただいております。また、職員間で避難誘導の研修を定期的実施しております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8	2	0	0	年間を通して安全計画を策定しております。今後も安心して過ごしていただけるよう周知の工夫をしてまいります。計画についてもご質問等あればいつでもお問い合わせください。

	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8	2	0	0		事故発生時の対応につきましては、契約時にご説明をさせていただいております。また、実際に支援中の怪我等が起きた場合は速やかに保護者様にご連絡・ご相談をさせていただいております。
満足度	27	ごどもは安心感をもって通所していますか。	7	2	1	0	プログラムの時間や量が、子どもにとってはまだ難しいのか、「できない」と子どもが言っていて、少し困っています。	ご意見を頂きありがとうございます。出来るだけ職員が個別でつく体制を整え、お子さまのペースに合わせて活動に参加出来るようサポートさせていただきます。環境整備や職員のスキル向上に努め、今後も安心して通所出来るような事業所作りをしてまいります。
	28	ごどもは通所を楽しみにしていますか。	8	1	1	0		少しでも楽しく通えるよう、何か不安な事等がございましたらご相談をいただけますと幸いです。これからもお子さま達に楽しんで参加してもらえるよう支援をしてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	8	2	0	0	スタッフの方がたくさん声をかけてくれ、子ども嬉しそうなのですが、集団プログラムの内容に、子どもの能力が達していない為か、ついでに、難しいように感じています。	難しい事にもお友達やスタッフと一緒に少しずつ挑戦し、スモールステップを達成出来るようサポートさせていただきます。今後もお子さま達の「出来た！」をたくさん引き出せるような支援を心掛けてまいります。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスAYUMOおおとり	公表日	R7年10月20日
------	----------------------------	-----	-----------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・運動をするための十分なスペース（64㎡）、運動器具用の倉庫、別室にて相談室があります。またクールダウンのスペースも用意しています。 ・未就学児のクラスは同時刻に5人までのクラスとなっており、広々と活動出来ています。 	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・専門性：保育士資格、幼稚園教諭免許、小学校教諭免許、理学療法士、児童指導員等、有資格者を配置しております。 ・子どもとの関わり方等の研修を受講しています。 ・配置数は常時4～5名配置している為、スタッフ1名につき1～2名のお子さまを見ることが出来ています。 ・きょうだい児と一緒に来所される際は保護者の方に見守りをお願いしております。 	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内に段差はなくバリアフリー化に努めています。 ・訓練室は掲示物を無くす事で刺激を減らし、プログラムに集中出来るようにしています。 ・やることリストを見て、自分で身支度が出来るように分かりやすくしています。 ・ホワイトボードにプログラムのスケジュールが分かるようにプレートを貼り、始めの会で見せながら話をする等、見通しを持って活動に参加出来るようにしています。また、絵カードや表を使った視覚支援を行っています。 ・洗面所には補助台、トイレには補助便座を用意しています。 	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・外からの光を取り込む事で居心地のいい空間作りを行っております。 ・毎日の清掃、空気清浄機の設置、気温に合わせた空調管理を行い、心地よく過ごせる空間を大切にしております。 ・自由時間などお子さまの希望する活動が複数に分かれる際はテント（大・小）等で空間を区切って活動に集中しやすい環境を作っています。 	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・相談室や一人用のテントを使ってクールダウンの時間を作れるようにしています。 	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、スタッフ間でプログラムや業務内容・年間のスケジュールの振り返りをし、改善を目指しています。 	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・年に一度実施し、結果とフィードバックをホームページに掲載しています。 ・アンケート調査の結果を踏まえ職員で改善策の話し合いをしています。 ・保護者の方からのニーズに関しては全職員で把握し、改善すべき点を話し合ったり、集団での改善の難しさがあるニーズは自由時間に個人で取り組んだり、違った視点からの療育が出来るよう心掛けています。すぐに改善、取り組める事にはすぐに対応し、保護者の方に伝えていけるようにしています。 	

善	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・週や月、年間の振り返りの際に改善に向けて職員間で意見を出し合っています。 ・面談の機会を半年に1回設けております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	3	・第三者委員会は現在設置しておりません。 ・外部講師等を招いた上での研修の機会等は設けています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	・事業所内での研修や外部講師を招いた研修を年間スケジュールを立てた上で実施しています。 ・外部での研修会に職員の偏りがないように参加しています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	・運動療育を通じ、お子さま一人ひとりの個別の目標達成に向けて「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間性・社会性」の5つの領域から総合的にアプローチを行えるプログラムを作成し支援しております。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0	・少なくとも半年に1回は面談を行い、お子さまや保護者の方のニーズを踏まえ、個別支援計画の案をもとにスタッフとの支援会議後、個別支援計画の本案を作成しております。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	・スタッフ間での共通理解が出来るよう日々の様子の振り返りや面談内容の共有をしたり、支援会議をした日に休んでいた職員には個別で意見を聞いたりしながら全職員で計画についても考えられるようにしています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	・個別支援計画の案の時点で全スタッフに確認してもらい、支援会議にて意見を出す機会を設けております。今後も計画に沿った支援を心がけて行きます。	・スタッフが日々、一人ひとりの個別支援計画を意識出来るような工夫を試行錯誤していきます。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	・アセスメントシートを用いてお子さまへの状況の理解を深めています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	・お子さまの状況に合わせて出来る範囲で支援内容を設定し、行っています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	・スタッフ間で年間の振り返りをし、プログラムの改善を目指しています。 ・イベントの担当スタッフを年間を通して決め、色々な視点を持ち、支援出来るようにしています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	・3ヶ月（2週×6）で同じ種目に繰り返し取り組んでいます。繰り返して取り組む事で種目の上達を促したり、達成感を感じたり出来るようにしています。 ・祝日のイベントプログラム内では季節に沿った活動を楽しんでいます。	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	・プログラムの中では集団での活動が主な時間と机上課題等、一人ひとりに合わせた課題を行う時間を提供しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	・毎日の朝礼で事前にお子さまの状況やプログラム内容について情報共有しています。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	・翌日の朝礼で前日の振り返りを行い、情報共有しています。		

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	・サービス提供の記録、支援の経過記録をご利用される毎に行い、いつでも支援内容や様子の振り返りが出来るようにしています。その他にも必要に応じて業務日報への記録を行い職員間での共通認識が出来るようにしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	・基本的に半年に一度、全スタッフで計画の見直しを行っていますが保護者の方からの要望があった場合、即時に対応出来るようにしています。 ・具体的な目標設定を行い、本人にとっても達成感が感じられるようにしています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	・フロアスタッフと伝達内容について共有し、主に児童発達支援管理責任者が参加しております。可能な日はフロアスタッフも同席しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	・医療的ケアを必要とする利用児の該当はありませんが医師の指示書が必要な児童に対しては指示書通りの対応を行います。 ・障害福祉、保育、教育等の関係機関との連携も必要時に行っています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	・現在通所されているほとんどのお子さまが地域の学校に通っており、必要時には学校の先生方と連絡を取り、連携を図っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8	0	・並行通園されている方もいらっしゃる為、必要に応じて情報共有を行う等 連携を図っています。 ・育成事業の方に来ていただいた際にスタッフも研修に参加しています。 ・また、あい・さかいの研修を受講しています。今後もいろいろな職員が受講できるようにしていきます。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	8	・利用されているほとんどのお子さまが地域の園に通園されています。	・事業所の活動として交流の機会を持つ事はまだまだ少ない為工夫できる点を模索していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	・連絡ノートや直接のお話出来る時間から、情報共有し、共通理解を持てるようにしています。	

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0	・基本的には未就学児のクラスでは保護者の方にも一緒に参加の上、支援の方法等を見ていただいています。 ・さかいハッタツ友の会が主催する自助・家族会「アコムーン」の開催場所提供をしており、職員も参加交流しています。(偶数月の第3土曜日、14:00~16:00)	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	・契約時に説明しています。また、変更が生じた点はその都度説明を行い、同意書等を頂いています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	・半年に一回保護者の方と面談をさせていただき、その時のお子さまの状況等を確認し、計画書に反映させていただいております。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0	・案の段階で説明をし、意向との相違点等がないか確認しております。その後、本案の作成を行い再度説明・確認を行います。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	・訪問、来所、電話等相談があった場合、傾聴を心掛け、不安の解消に努めます。分かる範囲の助言以外は一度持ち帰り、全職員で共有した後、話し合った上での回答をしています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	2	・感染症対策の為にしばらくの間保護者会の実施が出来ておりませんでした。今年度より再開致しました。今年度の保護者会はさかいハッタツ友の会を設立された石橋様にご参加頂き、保護者の方々と職員と情報共有をさせていただく機会を設けました。 ・さかいハッタツ友の会が主催する自助・家族会「アコムーン」の開催場所提供をしており、職員も参加交流しております。(偶数月の第3土曜日、14:00~16:00)	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	・苦情が発生した際のマニュアル、フローの作成を行い迅速かつ適切な対応が出来るようにしています。また、職員間での共有・反省を行い再発の防止に努めています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	・月に一度、おたよりを発行しています。 ・SNSを用いて情報の発信をしています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	・書類関係は鍵のかかるキャビネットで、厳重に管理しています。 ・契約時に説明をしている『個人情報使用同意書』に書かれている範囲内で使用していません。SNS等でもお子さま、保護者の方の顔、名前が写らないようスタンプ等を押して配慮しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	・ホワイトボードや絵カードを使って視覚からのアプローチをしたり、漢字を使わず短文で伝えたりして情報を伝達出来るように努めています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わられた事業運営を図っているか。	3	5	・祝日のイベントプログラム等で地域のお店にお出かけをして、地域との関わりも設けています。 ・また、法人内のリハビリデイサービスを利用されている高齢者の方々と交流を図っています。	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	・マニュアルを策定し、年間スケジュールに合わせた研修・訓練を実施しています。	・ご家族の皆さまにもマニュアルの内容を周知出来るようにしていきます。

非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	・実際の避難経路の確認等、防災訓練で行っています。	・シフト制・出勤数が少ない非常勤スタッフもいる為全員が参加して訓練を行う事が難しい現状ですが情報共有をして全員が理解出来るようにしていきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	・服薬やてんかん発作等についてはフェイスシートを用いて情報提供をして頂き日々の様子を見えています。	・予防接種の記録については現在把握出来ておりません。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	・年度の始めにフェイスシートの見直しを保護者の方にしていただき、お子さまのアレルギーの把握が出来るようにしています。 ・イベント等で施設から食べ物を提供する際には改めて保護者の方々にアレルギーの確認をしております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	・安全計画を作成し、計画に基づき研修や訓練を実施しております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	・避難訓練をするときには事前に一斉連絡を行い、内容を周知しています。その際に避難場所についてもお知らせし、保護者の方々への理解を深められるよう努めています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	・毎日の朝礼時に前日のヒヤリハットの確認をし、全スタッフで情報共有後、ヒヤリハット報告書に報告者、発生日時、場所、内容、状況、要因、課題・対策を記入し、全職員で確認し、再発防止に繋がっていきます。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	・虐待防止委員会の設置をし、定期的な研修を職員に対して行っています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0	・身体拘束適正委員会にて方針の決定を行い、従業者に周知しています。 ・施設前が通行量のある道路の為、施設は二重施設の上、利用者の皆さまにはやむを得ない場合の身体拘束についてのご説明をさせていただいています。活動中のやむを得ない身体拘束については個別支援計画にて同意していただき、その都度、保護者へのご説明、記録、報告を行ってまいります。		